



ひっ...

よく見たら
なかなか
かわいい子
じゃないか

よし キミを
次の小説のヒロインに
してあげようじゃないか
...え エロ小説だけだね



やっ...

ん...

ほほお...
ここもきれいだね
やはりヒロインは
処女でなくては



ん...



は...あ...

トロ..

にさ
や



...

す...!

す...!



起きないな...
これは僕の小説の為に
操を捧げると取って
いいんだね?

んっ...

ひっ...

う……うあああっ！
すばらしいっ！
膣のヒダが吸い付くように
僕を奥に引き込むっ

んんん

あ……

んんん……

はあ……

はあ……は

あ……

そして母性あふれる
この包み込むような感触っ
まさにヒロインの
おまんこじゃないか……っ！

アッ……

んんん

アッ……

んんん……

み 未体験だこんなのっ！
すこい...すこいぞっ！
耐えられない...っ！

おん...
おん...
おん...

あっあっ！

いっ...あっ

ああ...
で出るっ！
出るよっ！

びゅっ！
びゅるー！

うう...ん...あ！
あああああっ！

お...

おほ...

ほら
全部キミの体内に
取り込むんだ

ふん...ふん

おん...

あぁ...
僕の精液がここに
残ったまままだ...
もったいないだろ？
な？



かば

いっけない
居眠り
しちゃった!

しゅん



……ちー

なこちー!



ホタタッ

もーなこち
どこいったんだろ?
おーい!

ごめんなさーい!
今いくー!



っ